

DX推進総務WG

《目標》

業務の作業工程が見える化・最適化しつつ、ルーティン業務を自動化するRPAを導入することで、新たな人的リソースを創出し、より付加価値の高い業務へシフトする。

〔取組内容〕

これまで職員が自ら作業していた業務について、RPA等の導入によって業務の効率化を図る。

- 昨年度までに試行中の事案は、実用化に向けた検証を行う。
- 新規に検討する事案は、自動化の可否を含めた検討を行う。

Before

これまで：手作業で行っていたこと

(例)

- ・ 職員が、帳票から手作業でシステムにデータ入力

(イメージ)



〔職員〕

After

これから：検証・検討を経て自動化を目指す

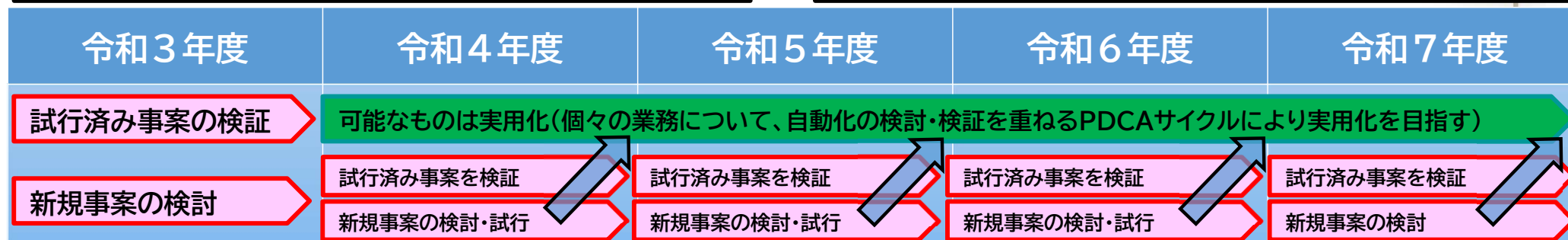
(例)

- ・ RPAにより作成したロボットが、帳票のデータ（紙資料はAI-OCRの活用で電子化を検討）から自動で既存システムにデータ入力

(イメージ)



〔ソフトウェアロボット〕



※今後の予定は現時点の想定であり、現場実証等の進捗状況により、変更等が生じる場合があります。